

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 5 月 10 日

事務事業名		地域情報通信基盤運営事業			事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け			新規/継続	継続	事務事業No.	040501000290
		総合計画の施策名			単独/補助	単独	所属課	010201
		0405 住環境の整備と景観の形成			主要事業		企画課	
政策体系		政策名	04	快適で潤いのある生活環境づくり	市長マニフェスト			
		施策名	05	住環境の整備と景観の形成	未来PJ事業		企画グループ	
		基本事業名	01	住生活環境の整備	合併建設計画事業			
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目		会計	款	項	目	事業	細	一般会計
		01	02	01	09	04	00	地域情報通信基盤運営事業
法令根拠					国民年金法・地方自治法			
【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)					単年度繰返し (平成22年度~)			
					← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	平成21年度から開始した地域情報通信基盤整備推進事業により大和地区、真壁地区に整備された光ファイバ網を維持管理するとともに、通信事業者に貸し付けることにより、光ブロードバンドサービスを安定的に提供する。		<ul style="list-style-type: none"> 光ファイバの芯線の賃貸に関する契約書の締結 光ファイバ保守契約 通信施設(電柱、地下管路、局舎内設備等)の賃貸借契約 光ファイバ網設備支障移転補償手続き 応急復旧用物品購入(光ファイバケーブル等) 				

①手段 (担当者の活動内容)								④活動指標 (活動量を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> IRU契約の締結 光ファイバ保守契約 通信施設の賃貸借契約 応急復旧用物品購入 								光ファイバの維持管理契約		件	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00
								通信施設賃貸借契約		件	6.00	6.00	6.00	6.00	0.00
								光ファイバ網貸付料		千円	29,246.00	30,000.00	30,500.00	31,000.00	0.00
									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
②対象 (誰、何を対象にしているのか)								⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
桜川市(大和・真壁地区)の光ファイバ網								桜川市(大和・真壁地区)の光ファイバ網		Km	182.00	182.00	182.00	182.00	182.00
								クロジャー		組	1,267.00	1,267.00	1,267.00	1,267.00	1,267.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)								⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
桜川市(大和・真壁地区)の光ファイバ網を適正に維持管理しブロードバンドサービスの安定運用を図る								事故件数		件	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
											0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

③ 投入量(事業費)の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	29,259	30,000	30,500	31,000	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
事業費計(A)			千円	29,259	30,000	30,500	31,000	0	0	
量	人件費	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人		
		述べ業務時間	時間	500.00	500.00	500.00	500.00	500.00		
		人件費計(B)	千円	1,451	1,451	1,451	1,451	1,479		
トータルコスト(A)+(B)			千円	30,710	31,451	31,951	32,451	1,479		

事業費の内訳	28年度事業費 実績(千円)				29年度事業費 予算(千円)			
	12 役員費	170						
	13 委託料	2,530						
	14 使用料及び賃借料	9,500						
	18 備品購入費	1,100						
	22 補償補填及び賠償金	16,700						
		合計	30,000				合計	30,500

④ 当該年度の実施内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する							
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 							

事務事業名	地域情報通信基盤運営事業	事務事業No.	40501000290	所属課	企画課
-------	--------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 桜川市では、市内の一部地域において超高速インターネットサービスが利用できない状況にあったため、総務省の地域情報通信基盤整備推進交付金を活用した光ファイバ網整備事業ならびに電気通信事業者と連携したサービス提供により課題解決を図った。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持	
------	--

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	高度情報化社会に対応したインフラの安定運用と利活用の推進を図る。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	市民をはじめ来訪者等が高度情報化社会に対応したブロードバンド基盤を活用し、多くの人々がより快適に生活するためには、ブロードバンドの利用における安定的に運用する必要がある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	通信事業者へ業務委託し適正な維持管理等を行う。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	桜川市(大和・真壁地区)は民間投資による事業展開が困難な地域があるため、採算性等の問題から、民間事業者による整備が難しいため、ブロードバンドの利用できる地域との格差が生まれる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	専門性の高い維持管理業務であり特定の通信事業者以外履行できない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか? やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	通信事業者へ業務委託することで人件費を抑えた。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	桜川市全域で同一のサービス利用可能なため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	地域情報通信基盤整備推進事業を真壁地区、大和地区を対象に実施し、平成23年1月19日工事完成、平成23年2月15日サービス開始したことにより運営事業を開始した。今後も安定的な運営、適正な維持管理を行い、更なる利用促進を図るため様々な広報媒体により普及・啓発を進める。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	×																						
	低下		×	×																						
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>